

—学生の知るべき未来が、今ここに—

北海道GXの可能性と 金融・エネルギーの将来

<産学官金連携コンソーシアム「Team Sapporo-Hokkaido」学生向けシンポジウム>

2023.10.30 月 14:30-16:00
(開場14:00)

参加費:無料
会場定員:300名(先着順)

アスティ45 16階 大研修室1614(札幌市中央区北4条西5丁目)

※札幌近郊以外にお住まいの方、現地参加が難しい方向けにオンライン配信も実施いたします。

プログラム

※ 講演内容や登壇者は変更になることがあります

- 開会挨拶 町田 隆敏 札幌市副市長
- 基調講演
「環境と金融をつなぐキャリアとは
～北海道で学ぶ、世界一やさしいサステナブルファイナンス入門～」
吉高 まり 三菱UFJリサーチ&コンサルティング フェロー(サステナビリティ)
- 講演 「GXが拓く北海道の未来」
今井 太志 北海道経済部 ゼロカーボン推進監
- パネルディスカッション「北海道GXの可能性と金融・エネルギーの将来」
パネリスト 不破 拓人 北海道大学 金融研究会 代表
武田 裕成 小樽商科大学 株式投資サークルSTOCK 代表
赤星 宏光 北洋銀行 経営企画部 成長戦略企画室
安達 崇人 北海道銀行 経営企画部 兼 サステナビリティ推進室
今井 亮介 北海道電力 経営企画室 企画・政策グループ
宮澤 智裕 北海道ガス 経営企画部 経営企画グループ
コメンテーター 吉高 まり 三菱UFJリサーチ&コンサルティング フェロー(サステナビリティ)
モデレーター 藤野 純一 (公財)地球環境戦略研究機関 サステナビリティ統合センター
プログラムディレクター/上席研究員
- 閉会挨拶 牛場 雅己 環境省北海道地方環境事務所長

お問い合わせ 札幌市まちづくり政策局政策企画部プロジェクト担当課 Mail : pjgx@city.sapporo.jp

お申し込み URL : <https://www.city.sapporo.jp/kikaku/gx/form2.html> 申込はこちらから→



主催: 産学官金連携コンソーシアム「Team Sapporo-Hokkaido」

※「Team Sapporo-Hokkaido」とは、北海道の国内随一の再生可能エネルギーのポテンシャルを最大限に活用し、世界中からGXに関する資金・人材・情報が北海道・札幌に集積する「アジア・世界の金融センター」の実現に向けて、2023年6月23日に設立した21機関で構成された産学官金のコンソーシアム(共同事業体)です。

構成機関: 札幌市・北海道・金融庁・経済産業省・環境省・北海道財務局・北海道経済産業局・北海道地方環境事務所・北海道大学・北海道経済連合会
北海道商工会議所連合会・札幌証券取引所・(株)北洋銀行・(株)ほくほくフィナンシャルグループ・(株)三菱UFJ銀行・(株)みずほ銀行・
(株)三井住友フィナンシャルグループ・(株)日本政策投資銀行・(株)脱炭素化支援機構・北海道電力(株)・北海道ガス(株)

シンポジウム開催によせて

私たちが暮らす北海道は、再生可能エネルギーや水素など、脱炭素型社会への移行—グリーン・トランスフォーメーション (GX)—の鍵となる産業や技術に関する大きな可能性を秘めており、既に様々な研究や実証事業が動き始めています。そして、そのポテンシャルを十分に発揮させていくためには、研究や事業を資金面からサポートする、ファイナンスの役割が重要です。

G7札幌を契機として6月に立ち上がった「Team Sapporo-Hokkaido」では、北海道GX産業の発展とGX金融の活性化を目指し、様々な取り組みを行っています。その一環として、これからのGXを担う学生や若手社会人を主な対象に、環境と金融・エネルギーへの関心を高めつつ、産学官金連携で取り組む北海道GXの将来について理解を深めてもらう機会として、本シンポジウムを開催します。

今回お話しいただくのは…グローバルとローカルに環境と金融をつなぐ、吉高まりさん！

吉高 まり 三菱UFJリサーチ&コンサルティング フェロー(サステナビリティ)

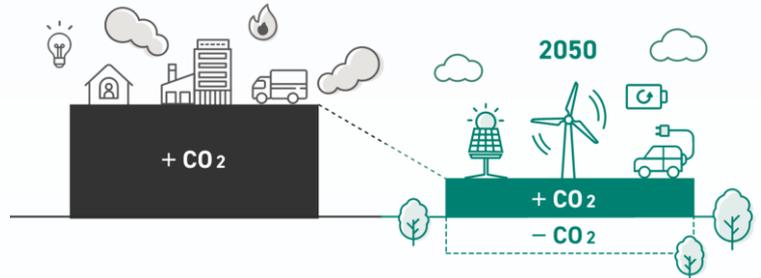
米国ミシガン大学環境・サステナビリティ大学院(現)科学修士。慶應義塾大学大学院政策・メディア科非常勤講師。博士(学術)。IT企業、米投資銀行などでの勤務、世界銀行グループ国際金融公社(IFC)環境技術部などへの従事を経て、2000年、三菱UFJモルガン・スタンレー証券においてクリーン・エネルギー・ファイナンス部を立ち上げた。気候変動分野を中心とした環境金融コンサルティング業務に長年従事し、現在は政府、機関投資家、事業会社などに向けてサステナブルファイナンスや経営についてアドバイスなどを実施。20年5月より三菱UFJリサーチ&コンサルティングに入社。中央環境審議会地球環境部会(環境省)臨時委員、サステナブルファイナンス有識者会議(金融庁)委員、食料・農業・農村政策審議会(農林水産省)委員、地球環東京都国際金融フェローなども務める。



シンポジウムの内容を少しだけ先取り:世界や日本、そして北海道で、いま何が起きている？

カーボンニュートラルとは？

地球規模の課題である気候変動問題の解決に向けて、2015年にパリ協定が採択され、気温上昇の抑制と、温暖化の原因となる二酸化炭素などの温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすることが合意されました。この「排出を全体としてゼロ」というのが、カーボンニュートラル—温室効果ガスの「排出量」から、植林・森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにする—ということです。



グリーン・トランスフォーメーション(GX)とは？

カーボンニュートラルの実現に向けて、石油や石炭などの化石燃料をできるだけ使わず、太陽光や風力など自然環境に負荷の少ないエネルギーの活用を進めることで、地球温暖化の最大の原因である二酸化炭素の排出量を減らそう、またそうした活動を経済成長の機会にするために社会全体を変えていこう、という取り組みのことです。

カーボンニュートラル・GXの実現に向け、世界と日本で起きていること

パリ協定以降、世界的に温室効果ガスの排出の抑制・吸収を進めるための技術開発や取り組みが加速しており、国や民間企業などはたくさんの資金を投じ、そういった動きを後押ししています。日本においても、GXを進めていくためには、今後10年間で官民合わせて150兆円を超える投資が必要とされています。GXの鍵となる産業や技術を多く抱えた北海道にとって、この投資をいかに呼び込んでいくかが重要です。

吉高さんやほかの登壇者から聞いてみよう

- 環境を仕事にするには？金融を仕事にするには？「環境と金融をつなぐ」ってどういうこと？
- 北海道は、グリーン・トランスフォーメーションを進めるための技術や産業に、どんな可能性を持っているのだろうか？
- 北海道における環境・金融・エネルギーの未来は？それらに関わっていくには、どんな選択肢があるのだろうか？